

江は碧^{みどり}にして鳥逾^{いよい}よ白く

山は青にして花然^もへんと欲す

今春看々又過^{みすみす}ぐ

何れの日か是れ帰年^{こ きねん}ならむ

江碧鳥逾白
山青花欲然
今春看又過
何日是帰年

絶句 杜甫

川面は深いみどりにゆたりと流れて 飛ぶ鳥は白く際立つばかり
山々は青みをおびて屹立し 花々はいまを盛りに咲き乱れている
この春も瞬く間に過ぎゆきて 故郷に帰れる日は何時になるやら